

救急外来を受診された患者さんへ

「救急外来における薬剤師の業務形態に応じた薬剤師業務と その有用性に関する研究」 への協力をお願い

薬剤部では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2025年1月1日～2025年3月31日の間に、救急外来を受診された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026年3月31日

研究目的・利用方法：

昨今、老若男女の多種多様な患者が搬送される救急外来では、適正な診断と治療へ繋げるための迅速かつ高度な薬学的管理が重要となります。そのため薬剤師が救急外来に介入する事が急務となりますが、各施設において救急外来への薬剤師の介入状況は様々であり、配置・関与は増加しつつあるものの十分ではない現状があります。この度、全国の多施設と共同で救急外来における薬剤師業務体制の臨床への影響や薬剤師業務の有用性を明らかにする研究を実施します。なお、得られた情報は研究責任者が責任を持って保管、管理します。

研究に用いる情報の項目：これらはすべて日常診療で実施される項目です。

- ・施設番号
- ・年齢
- ・搬送理由(疾患名)
- ・薬剤師業務時間
- ・薬剤の準備、調製の実施の有無(実施項目:t-PA、抗凝固薬拮抗薬・中和薬(薬品名)、中毒拮抗薬・解毒薬(薬品名)、気管挿管時に使用する医薬品、輸液、抗菌薬、その他(薬品名))
- ・患者情報の収集と評価の実施の有無(実施項目:薬歴の確認、OTC・サプリメント等の把握、服薬状況の把握、副作用・アレルギー歴の確認、未内服・過少内服の情報提供(薬品名)、過量内服の情報提供(薬品名)、副作用発現に関する情報提供、持参薬の中止の提案(薬品名)、服用中薬剤・OTC・サプリメント等の中止の提案(内容)、お薬手帳、紹介状内容と実際の聞き取り内容との相違の有無)
- ・中毒に関する情報提供と分析の実施の有無(実施項目:原因物質の特定に関する情報提供(中毒物質、原因物質の特性に関する情報提供(解毒、拮抗薬、致死量、半減期など)、原因物質の解毒薬・拮抗薬、処置(腎代替療法等)の提案、原因物質の血中濃度解析(中毒物質))
- ・薬物治療の提案の実施の有無(実施項目:薬剤選択(薬剤名、内容)、投与設計(用法用量変更を含む)、配合変化(内容)、剤型変更(内容)、剤中止(内容)、検査依頼)
- ・副作用等のモニタリングと情報提供の実施の有無(実施項目:情報提供(内容))
- ・注射ルート管理の実施の有無(実施項目:ルート提案(内容))
- ・TDM(中毒患者の分析以外)の実施の有無(実施項目:薬品名、TDM結果に基づく処方提案)
- ・プロトコールに基づいた代行入力の実施の有無(実施項目:持参薬入力、投与薬の処方入力、用法用量変更、薬剤の中止、検査、その他(内容))

- ・患者・家族への説明の実施の有無(実施項目:説明内容)
- ・診療補助の実施の有無(実施項目:PR 時の補助、フィジカルアセスメント(バイタル測定を含む)、その他)
- ・その他の実施の有無(実施項目:内容)
- ・薬剤師の提案に対する医師の受け入れ状況

研究に用いる情報の利用又は提供を開始する予定日:2025年1月8日

情報の取扱い:

調査施設からデータ収集機関:各施設の調査シートまたはオンライン入力

データ収集機関から研究代表施設:パスワードをかけた電子ファイルデータをメールにて送付

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

日本病院薬剤師会に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名:鈴木 昭夫

研究責任者

同上

共同研究機関等：

共同研究機関	所属	氏名
神戸大学医学部附属病院	薬剤部	段林 正明
広島大学病院	薬剤部	吉川 博
鳥取大学医学部附属病院	薬剤部	涌嶋 伴之助
東京医科大学	薬剤部	添田 博
東近江総合医療センター	薬剤部	服部 雄司
日本病院薬剤師会	令和6年度学術第1小員会	畝井 浩子
大阪大学医学部附属病院	高度救命救急センター	織田 順
倉敷中央病院	薬剤部	松山 祐
日本大学医学部附属板橋病院	薬剤部	今井 徹
	薬剤部	岩渕 聡
京都第二赤十字病院	薬剤部	川島 裕明
京都第一赤十字病院	薬剤部	木本 有香
札幌東徳洲会病院	薬剤部	齋藤 靖弘
中部徳洲会病院	薬剤部	坂口 結斗
福岡徳洲会病院	薬剤部	立石 裕樹
高知医療センター	薬剤部	門口 直仁
大阪府済生会野江病院	薬剤部	山崎 綾子
岡山市立市民病院	薬剤部	古谷 晃紀
手稲溪仁会病院	薬剤部	山崎 晃憲
県立広島病院	薬剤部	辻 雄輝
呉医療センター中国がんセンタ ー	薬剤部	佐藤 岳春

情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

神戸大学医学部附属病院 眞庭 謙昌

広島大学病院 安達 伸生

鳥取大学 景山 誠二

倉敷中央病院 寺井 章人

日本大学医学部附属板橋病院 吉野 篤緒

京都第二赤十字病院 小林 裕

京都第一赤十字病院 大辻 英吾

札幌東徳洲会病院 太田 智之

中部徳洲会病院 大城 吉則

福岡徳洲会病院 乗富 智明

高知医療センター 小野 憲昭

大阪府済生会野江病院 福田 和彦

岡山市立市民病院 今城 健二

手稲溪仁会病院 成田 吉明

県立広島病院 板本 敏行

呉医療センター中国がんセンター 繁田 正信

岐阜大学医学部附属病院 秋山 治彦

【問合せ先】

〒734 - 8551 広島市南区霞1-2-3

広島大学病院 薬剤部

電話：082-257-5572 E-mail：hyoshi@hiroshima-u. ac. jp

担当者氏名 吉川 博